

第3期宮前区区民会議 第5回 活力づくり部会 摘録

日 時 平成23年3月2日(水) 18:00~20:00

場 所 宮前区役所4階会議室

参加者 委 員 山下委員長、直本副委員長、佐藤部会長、浦野委員、手塚委員、
藤田委員

事務局 岩佐企画課長、白石職員、鈴木職員
阿部(コンサルタント)

1 前回のふりかえり

※ 前回のふりかえりとして、各委員が資料1の内容を確認。

2 コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり

※ 資料3を確認しながら、意見交換(主に新たに追加した意見のみ下記に記載)。

※ 目黒区「坂道ウォーキングのススメ」についての各種資料について事務局より説明。

1) アイディア等の追加

(1) コンセプト

直本 目黒区と宮前区で坂道の評価は違ってくると思う。だからコンセプトも違ってくると思う。

藤田 目黒区は坂道だけでなく健康づくりもコンセプトにしている。宮前区の場合は坂道なのか健康づくりなのかどうするかは考えた方がよい。

コンサル コンセプトを明確に示すタイトルをしっかりと決めたほうがよい。人の目を引くキャッチコピーにすべき。

(2) デザイン

事務局 麻生区のマップをみると、そんなに掲載している内容は変わらないが、目黒区のマップの方が魅力的である。

浦野 宮前区はカッチャン(カッパーク鷺沼イメージキャラクター)や三つ葉マークなど、ポップな感じがよいのではないか。

佐藤 高津区橋の「農のあるまちづくり」という行政がつくったホームページがあり、素敵なデザインになっている。高津区に聞いたところ、行政ではなく、業務委託でホームページを作成したということだった。

(URL:<http://www.city.kawasaki.jp/67/67tisin/tachibana/explanation/index.html>)

直本 デザインを決めるのは最後でいいのではないか。

(3) ビジュアル

直本 廊下に展示している写真をうまく使えとよい。

事務局 まちづくり協議会主催で写真を募集しており、4年目を迎える。それを使うことも可能である。

佐藤 写真も重要だと思う。「田園都市」という雑誌をみると、いつも見る道も輝いて

第3期宮前区区民会議 第5回 活力づくり部会 摘録

見える。コメントも重要。素敵だと思わせるような書き方にすることが必要。マップを開いて行ってみたいと思わせるようなビジュアルでないといけない。

藤田 ビジュアルも重要だが、まず手ごろな大きさ、薄さにまず尽きると思う。厚い本はいくらでもつくれる。いかに内容を絞ることができるかだと思う。一定の体裁の中でやったほうがよい。

(4) コース設定

①トイレの表示

山下 目黒区の特徴は、目黒川沿いに7コース中6コースがある。宮前区は平瀬川、矢上川、有馬川があり、複雑という印象である。宮前区の方がまんべんなく坂道があるのではないかと思う。

神社仏閣などでトイレを貸してくれるところも少ない。案外公衆トイレも少なく、マップに明記できるとよい。

恒川 トイレについては、公園よりは神社仏閣にお願いすることも考えられる。ただし事前に了解を得る必要がある。

佐藤 商店街でトイレを借りて、スタートするようにし、駅に向かうということも考えられる。商店街にお客が来てくれて、活性化にもつながると思う。

②スタート・ゴールの設定

佐藤 宮前区は駅というよりバス停になる。

藤田 バス停では駅とモニュメント性が違う。

事務局 バス停は自分が使うところはわかるが、2、3つ離れるとよくわからない。

佐藤 バス停が地図に掲載されていると、ウォーキング中に疲れて帰りたいと思ったときに帰ることができる。

恒川 目黒区の場合は駅から駅へというコースになっているが、宮前区は駅からバス停になると思うので、なにか必要。田園都市線をスタート・ゴールにすればいいが。

③コースの距離

佐藤 取り組みやすさを考えて、距離の短いコースがあるとよい。

④コース中の目印の表示

恒川 まち歩きをしていると、コース中、どこで曲がったらいかがが分からなくなる。目黒区のマップをみてもよく分からない。道路標識などの目印が分かるといい。

⑤テーマごとの設定

浦野 女性向けダイエットコースとして、たんぱく質やヨーグルト、甘いものであればこういうものを食べに行きましょうといったことをコースの中に取り入れられるといい。

佐藤 美脚やダイエットという言葉がただだけでもいいと思う。

浦野 良い景色をもとにしてつくるコースもいいが、高齢者向けの足腰を強くするコー

第3期宮前区区民会議 第5回 活力づくり部会 摘録

スヤストレス解消のコースなどを設定できるとよい。女性に受けがいいと、口コミで広がる。

(5) 歩数データの表示

山下 目黒区のマップは歩数をどうやって設定しているのか。

佐藤 一般の雑誌を見ても、歩数まで書いてあるものは少ないが、歩数が分かれば取り組みやすいと思う。

事務局 歩数はだれにでも当てはまる数字ではないが、あったほうがイメージしやすい。

(6) カロリー表示

浦野 カロリー表示にはついては、効果が分かるようなものを示すことができるとよい（例えば、この距離を歩くと、パン1個が食べられるといった内容）。

佐藤 区役所の健康教室で体重が違っていると、消費カロリーが違うということを知った。また、そのとき聞いたのは、消費カロリーの算出に計算方法があるということである。それだけ書いておけば事細かにカロリーを示さなくてもよい。

藤田 マップの前のページで算出方法を書いてはどうか。

(7) 他のマップやイベントとの連携

浦野 筋力がついたという成果を示すには、相当やり込まないといけないので、イメージ的なところを示すだけでいいと思う。日常的な取り組みにつながるものなので、こういうふうに変わるというイメージだけでよい。

佐藤 単発イベントや通年的な取り組みと連携して、そういったイメージ付けをできるとよい。

恒川 目黒区のマップには、例えば目黒不動尊など由緒があるが、それが書いていない。宮前区で単純に歩くだけより、歴史を知るようなヒントも与えたほうがよい。

コンサル そこはコンセプトをどう設定するかによる。

佐藤 歴史を詳しく知りたければ、歴史ガイドを見てもらうようにしてはどうか。

恒川 新住民にいかに参加してもらうかということを考えれば、歴史など若干訴える必要がある。

佐藤 イベントや通年的な取り組みと連携して、歴史をテーマにウォーキングするなどし、補足できるとよい。

浦野 いろんなコースのひとつとして、歴史もあっていいと思う。みんな興味のポイントが違うので、テーマが分散できるといい。コース設定の趣旨が分かりやすければいい。

コンサル そうしたうえで、そのテーマごとに詳細に書いてはどうか。

(8) 宮前区らしさの表現

恒川 目黒区は商店街がしっかりしている。宮前区はそうではないので、宮前区らしさをどう出していくか。

事務局 宮前区にあるものでやっていくしかない。

第3期宮前区区民会議 第5回 活力づくり部会 摘録

佐藤 宮前区をいかに素敵にみせるかがポイント。宮前区の評価が高まるようなものになりたい。

商店街であれば、どの程度協力してもらえるか。いいことだからやってほしいといっても、なかなか経済的な問題や他の活動として商業活性化に取り組んでいるので、メリットがないと商店街も企業などには動いてもらえない。

恒川 宮前区は川のまちだと思う。

浦野 宮前区はのどかだと思う。目黒区は武蔵小山などの下町なところや自由が丘などの都会的なところがあるが、自然や情緒はあまりない。全体的に見て、お店が点在していて、便利ようになっていく。目黒区のマップは坂道を切り口にうまくつくったという印象。宮前区は坂や自然があって、のどかなところで道路も広いので、そういったことを切り口にすればいいのかなと思う。歴史や健康づくりのコースを設定した場合、駅を拠点にできないので、便利ではないかもしれないが、良い写真やポイントを押さえて行きたいと思わせるマップができるとよい。

恒川 自然と歴史をうまく組み合わせるのがいいのかなと思う。

浦野 自然と歴史を組み合わせても、女性の体にいいダイエットコースはできるのではないかな。自然志向がはやっている。

佐藤 高津区の農のあるまちづくりの取り組みでは、ウォークラリーをやって、直売所で野菜を買って、集合してカレーをつくるというイベントをやったようだ。最初は農家をサポートすることを目的だったが、カレーなどをつくってみようというところから、波及して、イベントにつながったようだ。地産地消とも関連する話である。

2) 今後の進め方

佐藤 マップは持ち歩きやすいサイズにして、みなさんの共通意見ということで抑えていこう。

藤田 今日議論したのは、目黒区のマップのいいところを確認し、宮前区でつくるマップについて少し考えたわけではないか。宮前区でのマップのつくり方については、また次回では検討ではないか。

直本 今いろんな意見が出たが、宮前区の坂道を全員が知っているわけではない。だから、話が途中で途切れてしまう。そのあたりをどうするのか。いつまでも同じ議論になってしまう。

浦野 坂道の地図があれば、分かりやすい。

直本 地図を見ながら、具体例が出てくると、いろいろと話が出てきて、頭の中が整理できるのではないかな。

佐藤 マップをつくるのは誰なのかということまで議論していない。そういうことによってもここでまとめたものをダイレクトに反映するのか、マップの内容までの提案に留め、また、別な会議でやってもらうのかといった方法が考えられ、それによってだいぶ方向性が違うと思う。

藤田 コンセプトはここでつくらなければいけない。これが完成するところまではできないと思う。来年3月までにどこまでやるのかということだと思う。次の部会でコンセプトとどこまでこの部会でやるのかということを決めないといけない。

第3期宮前区区民会議 第5回 活力づくり部会 摘録

浦野 大きな地図があつて、地形を説明できる人がいると話も早いと思う。まずはイメージでコースを設定してみるか、それもと逆か。

藤田 まだコンセプトがしっかりしていない。宮前区には18の坂道があるというが、それをカバーするのか、それ以外の坂道をどうするのか。まずはコンセプトを決めたほうがよい。愛称つけるという話もあったが、愛称つけるだけでも大変な作業になる。

山下 坂道で名前がついているものは38ある。名前のついてない坂道は開発などで生まれたものが多い。

浦野 コンセプトを決めるにも、宮前区の坂道のイメージがわからない。

藤田 坂道といっても、小さい坂道まで取り上げればいくらかでもあるので、どういうものを対象にして作業をしていくかということを考えないといけない。

浦野 どこにどんな坂道があるのかがわからないので、コンセプト決まっても頭でっかちになってしまう。坂道の状況を把握したほうがよい。

藤田 目黒区は33の坂道から始まっているはず。宮前区の坂道を全て知っている人はいないのではないか。

コンサル まずは現状認識からとするという事。

佐藤 宿題になるかもしれないが、次回までに各自1つでも2つでも坂道を歩いてきてもらうか。部会で歩くのは難しい。

恒川 マップで扱うにしても、既に出ている坂道のことしかいえないのではないか。どこを歩いても坂道にぶつかる。

藤田 目黒区は33の坂道全てをマップで取り上げている。宮前区ではどの坂道を対象にするのかということが大前提になる。ただし、18の坂道をさらに増やして名前をつけようという話になると、とても1年では足りない。

山下 18の坂道というのは名前が付いていて、標識が出ているものである。

恒川 まずはそれを頭に入れないといけない。

浦野 地図があるとよい。それがあれば、コースを決められる。

藤田 コースを決めるときもそうだが、まずは18の坂道がどこに分布しているかを把握してから、議論する必要がある。

佐藤 細かいところまで提案できるかどうか。

藤田 コンセプトを考えるときに、目黒区はいいと思っているが、宮前区はどうするかという話がないとつくるできない。

山下 歴史ガイドで38の坂道を紹介しているので、それをもとに地図をつくれるのではないか。

藤田 それに赤印をいれて、坂道を示せるのではないか。

佐藤 次回は坂道の分布に関する資料を用意する。

3 区民会議フォーラムについて（案）

- ※ 事務局より資料4を説明し、フォーラムでの担当を決定した。
- ※ グループワークの担当は直本副委員長と藤田委員、佐藤部会長と手塚委員とする。発表者と書記は臨機応変に対応する。
- ※ ティータイムの担当は浦野委員とする。

第3期宮前区区民会議 第5回 活力づくり部会 摘録

4 今後の会議スケジュール

1) 次回部会日程

※ 第6回活力づくり部会は第1候補を平成23年4月19日(火)、第2候補を4月20日(水)とする。欠席者にも確認の上、今週中に確定する。

2) 第2回 ZAMA 坂道マラソン視察 (3月20日(日)開催)

※ 視察は、部会扱いではなく、有志の参加とする。

(以上)